

FUKUI DAIZU 情報

福大豆

No.6

梅雨明けも間近です。排水溝の手直しと、培土がまだ終わっていない圃場は速やかに培土作業を実施して下さい。また、本年も高温によりカメムシが多発しています。適期・確実な防除の実施と、畝間灌水の準備を行いましょ。

1. 里のほほえみ、高収量・高品質へのポイント

① 培土作業：速やかに実施を！

- 培土作業(本葉5～6葉期)が遅れている圃場は速やかに実施しましょ。ただし、開花期までに終了すること。(開花以降は根を傷め、減収につながるため)

初生葉

② 除草散布作業

- 雑草の生育状況により、畝間除草剤を散布しましょ。
- 土壌水分が高く培土の遅れや培土が出来ない場合は、除草剤を散布しましょ。

③ 病虫害防除は適期に確実に!!

現在、カメムシ注意報が発令されています。病虫害の発生が多くなってくる時期となりました。病虫害は防除を怠ると減収や品質低下につながります。初発の症状を見つけて遅れないよう防除を行いましょ。また、薬剤は根元までかかるように丁寧に散布しましょ。

【防除暦】

生育ステージ	7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
防除	生育盛期			開花期			子実肥大期			成熟期		
基幹防除	1回目 殺虫剤 (ウコンメイガ)			2回目 殺菌殺虫剤 (紫斑病+カメムシ類・アブラムシ類)			3回目 殺虫剤 (カメムシ類・マメシクイガ)					
	葉焼け病											

② ウコンメイガ(防除:7月下旬～8月上旬)

- 葉の巻き始める若齢幼虫期(発生初期)の防除が効果が高い。葉色が濃く生育旺盛な圃場や山沿いの圃場では発生が多くなる。発生が多いときは全葉が被害を受け、食害を受けた部分は褐変して枯死する。

③ 葉焼け病(防除:7月下旬～)

- 主に葉に発生し、初発は淡緑～淡褐色のきわめて小さな斑点が発現する。時間が経過するとともに広がり1～2mmの大きさになり褐色～黒褐色となり、発病が激しいと葉全体が淡黄色になり枯死して落葉する。
- 強風雨で蔓延し、多発すると収量・品質が低下する。

ウコンメイガ防除剤

- ダントツH粉剤 4kg/10a  
使用回数:2回(収穫7日前まで)
- プレバソンF5 16～32倍 0.8ℓ/10a  
使用回数:2回(収穫7日前まで)

葉焼け病剤

- Zポルドー 500倍 100～300ℓ/10a
- フェステイバルC水和剤 600倍 100～300ℓ/10a  
使用回数:3回(収穫7日前まで)